

## 「主の契約に生きる」

主任牧師：重田 稔仁

<メッセージ>

ノアの物語の要約

「主は、地上に人の悪が増し、常に悪いことばかりを心に思い計っているのを御覧になって、地上に人を造ったことを後悔し、心を痛められた。」

創世記 6:5-6 新共同訳

主が「心を痛めた」というこの一節は、主はその心が苦しみと悲しみで心が一杯になったということです。

人間の罪惡に心を痛めた主なる神はアダムから数えて10代目のノアが600歳のとき大雨を降らせて大水で地を覆い尽くしました。その結果、ノアとその家族そしてノアが箱船に運び入れた生き物以外は息絶えたと創世記7章に記されています。

「地上で動いていた肉なるものはすべて、鳥も家畜も獣も地に群がり這うものも人も、ことごとく息絶えた。乾いた地のすべてのもののうち、その鼻に命の息と靈のあるものはことごとく死んだ。」

創世記 7:21-22 新共同訳

1年1か月の洪水の後、水が地の表から引いたあと、ノアは箱舟から出て主の前に祭壇を築いたのですが、そのノアと神が祝福の契約を結んだくだりが創世記9:8~17にあります。

創世記 9:8~17 新共同訳

神はノアと彼の息子たちに言われた。「わたしは、あなたたちと、そして後に続く子孫と、契約を立てる。あなたたちと共にいるすべての生き物、またあなたたちと共にいる鳥や家畜や地のすべての獣など、箱舟から出たすべてのもののみならず、地のすべての獣と契約を立てる。わたしがあなたたちと契約を立

てたならば、二度と洪水によって肉なるものがごとく滅ぼされることはなく、洪水が起こって地を滅ぼすことも決してない。」更に神は言われた。「あなたたちならびにあなたたちと共にいるすべての生き物と、代々としえにわたしが立てる契約のしるしはこれである。すなわち、わたしは雲の中にわたしの虹を置く。これはわたしと大地の間に立てた契約のしるしとなる。わたしが地の上に雲を湧き起こらせ、雲の中に虹が現れると、わたしは、わたしとあなたたちならびにすべての生き物、すべて肉なるものとの間に立てた契約に心を留める。水が洪水となって、肉なるものをすべて滅ぼすことは決してない。雲の中に虹が現れると、わたしはそれを見て、神と地上のすべての生き物、すべて肉なるものとの間に立てた永遠の契約に心を留める。」神はノアに言われた。「これが、わたしと地上のすべて肉なるものとの間に立てた契約のしるしである。」

神がノアと結んだ契約の特徴を一言で言うと、それは、  
〈一方的、無条件に神が人と結んだ契約 = 片務契約〉  
だということです。

このことを頭の片隅においてこれからお話することを聞いて頂きたいのですが。

主なる神さまは、自らが立てた契約を覚えるために空に虹を置いたと創世記 9:16 にあります。

「雲の中に虹が現れると、わたしはそれを見て、神と地上のすべての生き物、すべて肉なるものとの間に立てた永遠の契約に心を留める。」

創世記 9:16 新共同訳

ノアの契約を証しする虹は人間にとって希望と平和の象徴。虹を見ると誰もが例外なく幸せな気持ちになると思いますが、残念ながら、ノアの契約には私たち人間を罪の支配から救う力はありません。それによってオートマティック（自動的）に神と共に生きることはできません。それはノアの子孫である私たちの歴史が明らかにしています。

何故、ノアの契約は私たち人間を罪の支配から救うことはできないのか。  
私たちはノアの契約によって神と共に生きることができないのか。

それはノアの契約が神の一方的な恩寵をベースにした片務契約で、神と人間との相互の信頼関係に基づいた契約ではないからです。

だからこそ、“神はその独り子イエス・キリストを人として”地上に送り、イエス様の十字架の贖いによって人を罪の支配から救いだし、神が人と共に歩み、人が神と共に歩むための完全な〈双務契約〉を結んでくださったのです。

主イエスが立てた神と人との〈双務契約〉に生きる時、人は初めて主イエスにあって罪の支配から解放されます。もし私たちが主イエスの立てた契約によって神と共に生きることに同意するなら、たとえ、からし種ほどの信仰であっても主イエスの契約に私たちが生きることができるよう神が助け守ってくださる。神がそうしてくださる！これが主イエスの福音です。

人生、長い短いに関わらず人の罪がもたらす悪に打ちのめされ死んでしまいたいと思うようなことが一度や二度誰にでもあると思います。多くの人が表だって口にはしませんが。

神と共に生きていても、そんな時があります。しかし、そんな辛い惨めな時にも生きる希望を主イエスの契約は私たちに保証してくれます。

みなさん、主イエスの立てた契約に生きる幸いに目を開かせていただき、味わわせていただき、この幸いに生きる喜びを私たちの隣人にも分かちあっていきましょう！